

# ハ一モ二一

♪ 2024/05/17 第2号

## 有<sup>ゆ</sup>備<sup>う</sup>無<sup>び</sup>患<sup>む</sup> か ん

☆「有<sup>ゆ</sup>備<sup>う</sup>無<sup>び</sup>患<sup>む</sup> か ん (備<sup>そ</sup>え有<sup>あ</sup>れば、患<sup>う</sup>れ無<sup>な</sup>し)」は、昔の中国から来た言葉で「日頃から気をつけて準備しておけば心配いらない」という意味です。記憶にも新しい今年のお正月に起きた能登半島地震や津波の恐ろしさを見せつけた東日本大震災、そして兵庫県に甚<sup>じん</sup>大<sup>だい</sup>な被害を及ぼした阪神・淡路大震災。今回の避難訓練はそのような地震発生後の校内での火災発生を想定して行いました。みなさんは、振りかえってみてどうですか。

- ①私語をせずに移動できたか。
- ②校舎内では走らず、急いで移動できたか。
- ③校舎外に出てからは走ったか。
- ④整列は学級委員の指示に従い静かに、素早く出来たか。(10分 の整列完了は出来たか)

☆地震はいつ起こるのか、どこで起こるのか、予測が難しいです。しかし普段から防災について学び、実際に訓練を行うことで自分自身の身を守ることにつながります。災害時には主体的に判断して行動する力が必要です。学校で学んだ防災知識を元に将来を通して安全で安心な社会を作っていくしましょう。